



大成ロテック初の女性部長として、1日付で就任した。「1つの部を任されることに責任の重さを感じる。今までの業務経験を生かして職務を全うしていく」と抱負を語る。

これまで部長代理を務めた管理本部企画情報部業務システムグループでは、工事、合材の各業務システムから売り上げや受注を会計データにひも付ける社内基幹システムの企画・開発・運用・保守などを一手に引き受けていた。1日から企画部門は経営企画、情報部門は情報システムと分割するが、情報システム部では引き続き同様の業務を担当する。

「間接的に会社に貢献する部署のため、工事や合材など各部門と連携して会社の成長の一端を担いたい」

専門学校では

## 社内システムから会社を支える

大成ロテック管理本部情報システム部長 柳川 美輪子さん

コンピュータを学んだ。就職では父や恩師から受けた「身近なものの職業についたほうがいい」というアドバイスから、生活になくはならない「道路」に携わることが決断。

「幅広い仕事ができることに加え、大成」という業界の名門で自分ができるのか試したかった」との思いから1984年大成道路(当時)に入社した。「会社訪問時に女性社員がシステム系の部署で働いていると聞いていた」ことも背中を押した。

「システム開発やパッケージ導入が順調にいき、使いやすいいと思ってもらったときはやって良かったと思う」。なかでも、2002年の係長時代に手掛けた3年にわたるウェブ会計システムの開発プロジェクトは「これまでで一番大規模でやりがいがあった」と振り返る。

業界での長年にわたる経験から、さらなる女性活躍に向けては「制度の改革だけでなく、女性自身が一步を踏み出すことも必要」と指摘する。

部内の女性社員には「ルーティンワークだけでなく、プロジェクトなど中心の業務にも加わってもらいたい」と考えており、上司としてその一步を後押しする。